

日高町地域公共交通活性化協議会

平成21年2月26日設置



概要

日高町は、平成18年に旧日高町と旧門別町が飛び地合併により発足した町であるが、広い行政面積を有し中心部に市街地がある他は集落が分散しており、バスの運行系統についても合併前の系統を踏襲したままであることから、農村部における運行効率が低く、バス事業者の赤字が増大している。さらに官民の各種バスが併存した非効率な運行となっているため、早期に地域全体の公共交通のあり方の検討が課題となっている。このため、バス路線の再編を行うことにより、利便性・効率性の高い交通体系構築の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

〈日高地区〉

- ・道南バス(株) (地域内1路線、都市間1路線)
- ・町営バス(市街地循環及び地域間3路線)
- ・占冠村営バス(1路線)

〈門別地区〉

- ・JR日高本線(富川駅、日高門別駅、豊郷駅、清島駅、厚賀駅)
- ・道南バス(株) (地域内5路線、都市間1路線)
- ・スクールバス(6路線)・町営温泉バス

○地域公共交通の課題

- ・官民の各種バスが併存しており非効率
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・スクールバス等の有効活用

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・町営バスの路線再編に係る試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バス等の路線再編
- ・スクールバスへの一般住民の混乗
- ・民間路線バスと町営バスの連携
- ・日高地区と門別地区を結ぶ路線の構築

